



Library NEWS

～図書館だより～

令和年度 晃陽中学校図書館



昼の時間が短くなり、すごしやすい季節になりました。読書の秋です。
長編の本や名作に挑戦してみてはいかがでしょうか？



お話給食

＜お知らせ＞

お話に出てくる料理を給食でいただきます。

10月27日(火)「チキンライスがいく。」

11月4日(水)「アーヤと魔女」

11月13日(金)

「かのこちゃんとマドレーヌ夫人」

お話を読んでみませんか？



多読者

9月まで 学校図書館でたくさん本を借りた生徒です



1学年

1位 133 冊

1-2 K.Iさん

2位 96冊

1-2 M.Tさん

3位 83 冊

1-1 H.Eさん

4位 65 冊

1-2 M.Bさん

5位 60 冊

1-1 A.Iさん

2学年

1位 104 冊

2-1 S.Mさん

2位 74 冊

2-2 A.Jさん

3位 70 冊

2-1 Y.Nさん

4位 67 冊

2-1 K.Tさん

4位 67 冊

2-1 T.Mさん

3学年

1位 111 冊

3-2 H.Sさん

2位 100 冊

3-2 Y.Sさん

3位 96 冊

3-2 R.Nさん

4位 94 冊

3-2 K.Iさん

4位 91 冊

3-1 K.Nさん



..... おすすめの本

2020.10



「52 ヘルツのクジラたち」 町田 そのこ 著 中央公論新社 260 p

52 ヘルツのクジラとは、他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラ。たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。ねじ曲がった家族のなかで自分の人生を抑えて暮らしていた主人公のきなこと、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。心を閉ざして生きてきた彼らが出会う。声を聞き取ることはできるのか？ 奇跡はおこるのか？幸せな未来を感じさせるラスト。感動し泣ける本。



「本好きの下剋上」 香月 美夜 著 TOブックス 351 p

本のない世界に転生した本好きの少女の物語。見知らぬ世界で貧しい家に生まれ変わった幼い少女マイン。大好きな本を手に入れるどころか、読書さえ難しい。ないなら自分で作っちゃえ！紙もなく、パピルス、粘土板、木簡など工夫して本を作ろうと奮闘するが失敗続きで前途は多難。持ち前の頑張りで、お金を稼ぎつつ、近所に暮らす少年・ルッツの助けもあって、ようやく本格的な「紙作り」が始まる。マインの本への執着がすごい。楽しいシリーズ、元気をもらえる本。



「俺の残機を投下します」 山田 悠介 著 河出書房新社 379 p

プログラマーの主人公一輝の前に残機^{かすき}の3人リュウスケ、シンヤ、ダイゴが現れる。自分にそっくりな3人はそれぞれにやりたい事がある。だから一輝に無茶をしないでくれと頼む。命にかかわる事態になると残機が身代わりになってしまうから。人を見下して生きてきた一輝だが、3人と出会って少しずつ変わっていく。一輝は巻き起こる事件を乗り越え大切な人を守ることができるのか？ラストまで気が抜けない感動作。



「ころべばいいのに」 ヨシタケ シンスケ 著 ブロンズ新社

きらいなやつ、ころべばいいのに。でも、そう思う自分の心の邪魔みたいなやつが大嫌い。いろんな人がいて落ち込むこともある。けれどそんな時に、この本を読んでみよう！きらいな人がいてもいいんじゃない。イヤな気持ちって、自分ではどうしようもないどしゃぶりの雨のようなもの。逃げ込む場所はある？好きなものや楽しいことを集めて準備しておきたい。自分の心を整理できる本。

..... 予約できます。